

活動と資料

イギリスにおける外国人看護師受け入れと 看護師の国外流出



大橋 順子¹⁾, 飯降 聖子¹⁾, 馬場, 文¹⁾, 松井 陽子¹⁾, 植村小夜子¹⁾

¹⁾ 滋賀県立大学人間看護学部

I. はじめに

英国（イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの連合体、以下イギリス）は1990年代後半から国内の看護師不足を解消するために、海外で教育を受け、臨床経験のある外国人看護師を多く受け入れてきた。本稿では、イギリスにおける外国人看護師の受け入れと看護師の国外流出について検討する。



図1 タワー・ブリッジ

II. イギリスの医療保障制度と看護師不足

イギリスでは、1946年に制定された国民保健サービス法（National Health Service Act）に基づき、1948年からNHS（National Health Service：国民保健サービス）により、全国民に保健医療サービスが提供されている。NHSシステムは、国税により運営されており、基本的に無料で医療サービスを受けることができる。しかし、1980年代以降NHSは低医療費政策によるサービス供給量の不足と質の低下、およびその組織の巨大化・官僚化をきたしていた。また、様々な政権下で繰り返される制度改革による混乱などにより疲弊化し、危機的狀態に陥り、医療サービスの水準は著しく低下していた^{1,2)}。1997年に誕生した労働党ブレア政権は、同年に白書（the New NHS）を発表し、新たなNHS改革に向けて基本原則を打ち出した。その内容は、NHSの真の国民保健サービスとしての刷新化をはかること、具体的には、厳格な実績評価と包括的サービスによる効率性の推進、質を重視したサービスの保証などである。その後、提出された保健法1999、NHSプラン2000においては、保健医療サービスの供給能力の拡大、すなわち施設・設備の拡充と、医療従事者の増員が目標として掲げられた。しかし、イギリスの医療現場においては、長年劣悪な労働条件や就労環境の政策的改善が図られないために、看護職を含む医療従事者の恒常的な不足が問題となっていた。そこで政府は離職者の復職促進および海外からの雇用促進に取り組み、医療従事者の充実を目指した^{2,3)}。

III. 外国人看護師の受け入れ状況について

外国人看護師がイギリスで看護師・助産師として働く際は、看護助産師協会（Nursing and Midwifery Council: NMC）に登録する必要がある。NMCは、イギリス保健省による看護助産規定2001（Nursing and Midwifery Order 2001）に基づき2002年4月に創設された⁴⁾。NMCは法律に基づいて看護師・助産師に関す

Recruiting overseas nurses and UK nurses going abroad in the United Kingdom

2012年9月30日受付、2013年1月9日受理

連絡先：大橋 順子

滋賀県立大学人間看護学部

住 所：彦根市八坂町2500

e-mail：ohashi.j@nurse.usp.ac.jp

る資格審査等を政府から委託された機関である⁵⁾。そこでNMCは、国民により良い保健医療サービスを提供するために、外国人看護師の登録に際しては資格審査を行い、全ての外国人看護師に海外看護師研修プログラム (the Overseas Nurses Programme) の受講を義務付けている。研修は、20日間の必須研修 (the protected learning) と、監視下での臨地実習 (supervised practice) により構成されている⁶⁾。

NMCへの登録は、看護師、助産師、専門地域保健師の3種類があり、2008年3月31日現在のNMCへの登録者総数(看護師と助産師)は、676,547名である(表1)。外国人看護師の受け入れ推移(1999~2008年)は、新規登録看護師に占める外国人看護師の割合から把握することができる(表2)。非EU(欧州連合)からの新規登録外国人看護師割合は1999年の20.2%から増加し続け、2002年のピーク時には49.1%となり、ほぼ半数を占めている。ところが、外国人看護師割合は2005年を境に減少へ転じ、2008年では8.9%まで減少している。それは2002年のピーク時における割合のおおよそ1/6となって

いる。これは、①政府が目標としていた人員増加が達成された、②海外からの看護師受け入れを続けるとNHSの財政負担が増加し続けることから、徐々に抑制策をとっていったことによる³⁾。

外国人看護師・助産師の出身国の最多割合は、1999~2000年まではオーストラリアであったが(1999年;36.9%、2000年;20.3%)、2001~2004年はフィリピン(最多48.0%、最少31.9%)、2005~2008年はインド(最多50.4%、最少33.6%)となっている(表3、4)。

南アフリカにおいては、国内で養成した看護師の多くがイギリスへ流出した。そこで南アフリカのマンデラ大統領は、イギリスの外国人看護師採用活動に対して嚴重な抗議を行った。これを受けて、イギリス保健省は2001年に「NHS雇用主は対象国政府とイギリス保健省の同意がない場合、求人活動をすべきではない」と規約に明示した。その後、イギリス政府はフィリピン、インド、インドネシア、さらにスペインなどと二国間協定を締結した。その結果、フィリピン、インドから多くの看護師を受け入れることになった^{2,6,7)}。

表1 看護職登録者数(看護師・助産師)

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
登録者数	634,229	634,529	632,050	644,024	645,580	660,480	672,897	682,220	686,886	676,547

※イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド、海外等からの出身者を含む。

出典：NMC, Statistical analysis of the register, 2002-2008.

表2 新規登録者に占める非EU国人看護師数と割合

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
新規登録者	17,954	21,418	25,123	30,693	31,775	34,617	33,257	31,402	27,704	25,864
外国人看護師	3,621	5,945	8,403	15,064	12,730	14,122	11,477	8,709	4,830	2,309
割合	20.2%	27.8%	33.4%	49.1%	40.1%	40.8%	34.5%	27.7%	17.4%	8.9%

出典：表1に同じ。

表3 新規登録外国人看護師(EU以外)の主な出身国別数

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
India	30	96	289	994	1,830	3,073	3,690	3,551	2,436	1,020
Australia	1,335	1,209	1,046	1,342	920	1,326	981	751	299	262
Philippines	52	1,052	3,396	7,235	5,593	4,338	2,521	1,541	673	249
Nigeria	179	208	347	432	509	511	466	381	258	154
Nepal	—	—	—	—	21	43	73	75	148	117
New Zealand	527	461	393	443	282	348	289	215	74	62
others	1,498	3,015	2,932	4,618	3,575	3,978	2,965	2,159	942	445

出典：表1に同じ。

IV. イギリス人看護師・助産師の国外流出状況について

イギリスでは外国人看護師を受け入れている一方で、イギリス人看護師が外国（EUを含む）に流失している現状がある。外国に職を求める看護師・助産師数は1999年において3830名、2008年は11178名であり、年次推移は増加傾向を示している（表5）。イギリスからオーストラリア、アメリカへ、あるいはEU内部で移動する看護師は年々増加している。経済協力開発機構（OECD）の2007年報告書において、OECD各国内に就労している外国人看護師を出生国別数に見てみると、フィリピン生まれが最多であり、次いでイギリス生まれが第2位となっている⁹⁾。この背景としては、イギリス人看護師は待遇への不満から海外へ移動するとの論考がある⁹⁾。また、イギリスは英語圏、英連邦、EUという3つの世界と関連が深いため労働移動が容易であることが一因である¹⁰⁾とも指摘されている。

V. まとめ

イギリスでは、看護師不足の解消とNHSの計画に基づく医療サービスの質の向上を実行するために、より多くの看護職が必要となった。そのため国家政策として積極的に外国人看護師を受け入れてきた。その一方で、イギリスから他国への看護師流出は経年的に増加している。NHSの医療サービスの質の向上をはかるには、自国で教育した看護師の流出を防ぐ方が長期的にみればより得策であると考えられる。

本稿で明らかとなったイギリスの外国人看護師の受け入れと自国の看護師の国外流出については、給与や労働時間などの待遇面の観点からの検討が必要である。

文献

- 1) 曾根志保, 高井純子, 大木秀一, 他: イギリスにおける看護師の教育制度の変遷と看護職の現状, 石川看護雑誌, 3(1), 95-102, 2005.

表4 新規登録外国人看護師（EU以外）の主な出身国別割合（%）

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
India	0.8	1.6	3.4	6.6	14.4	22.6	33.6	40.9	50.4	44.2
Australia	36.9	20.3	12.4	8.9	7.2	9.7	8.9	8.7	6.2	11.3
Philippines	1.4	17.7	40.4	48.0	43.9	31.9	22.9	17.8	13.9	10.8
Nigeria	4.9	3.5	4.1	2.9	4.0	3.8	4.2	4.4	5.3	6.7
Nepal	—	—	—	—	0.2	0.3	0.7	0.9	3.1	5.1
New Zealand	14.6	7.8	4.7	2.9	2.2	2.6	2.6	2.5	1.5	2.7
others	41.4	50.7	30.7	30.7	39.0	29.0	27.0	25.0	20.0	19.0

出典：表1に同じ。

表5 外国に職を求めるイギリス看護師・助産師数

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
Austraria	1,504	1,661	1,859	1,973	2,602	2,708	3,298	3,047	4,764	5,581
USA	288	319	472	1,089	2,224	2,082	1,729	1,338	1,613	1,701
New Zealand	478	630	655	753	958	980	1,097	1,423	1,336	1,237
Ireland	—	—	—	—	1,177	916	847	1,009	999	1,011
Canada	189	262	474	490	452	376	461	404	739	898
Spain	—	—	—	—	73	103	124	132	142	164
United Arab Emirates	—	—	—	—	—	38	28	18	42	66
France	—	—	—	—	50	74	87	60	56	62
EEA	719	827	600	1,057	—	—	—	—	—	—
Other	652	1,384	596	894	543	333	375	341	384	458
Total	3,830	5,083	4,656	6,256	8,079	7,610	8,044	7,772	10,087	11,178

出典：表1に同じ。

- 2) 河内優子：グローバル経済時代における看護労働の国際化，九州国際大学経営経済論集，14(1)，95-153，2007.
- 3) 井上淳：看護師の越境移動にかかわる日本の規制枠組みの検討，医療と社会，21(1)，85-96，2011.
- 4) 織田由紀子：英国における外国人看護師受入研修，日本赤十字九州国際看護大学IIR，6，13-22，2008.
- 5) Nursing Midwifery Council：Registering as a nurse or midwife in the United Kingdom, For applicants from countries outside the European Economic Area, <http://www.nmc-uk.org/Documents/Registration/Registration%20information%20trained%20outside%20Europe.pdf>, <2012年7月30日アクセス>.
- 6) 上續宏道，山田亮一：グローバリゼーションと福祉国家戦略 - イギリスの看護政策を踏まえて - ，四天王寺国際仏教大学紀要，大学院第4号，人文社会学部第39号，短期大学部第47号，57-76，2005.
- 7) ブキャン，J(著)．，早野真佐子(訳)：看護師の国際的採用活動が政策上に与える示唆：イギリスからの教訓，インターナショナルナーシングレビュー，28(4)，53-58，2005.
- 8) OECD：International Migration Outlook, Part III, OECD, 2007.
- 9) 近藤克則：「医療費抑制の時代」を超えて - イギリスの医療・福祉改革 - ，医学書院，2004.
- 10) 原田順子，岡野内俊子：公的セクターにおける病院看護師のマネジメント - 日英の外国人看護師に関する事例と考察 - ，放送大学研究年報，25，67-72，2007.